

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 10

平成27年8月12日

東部農林振興センター出雲農業普及部

標題 JAしまね出雲管内のデラウェアの出荷が終了

(ダイジェスト)

平成27年産デラウェアの出荷量は1,142 t、販売額1,273,522千円となりました。食味は良好であったものの今年産はパック率、青秀率が高くなりました。原因として4月上旬の低日照、4月下旬～5月上旬にかけての乾燥と樹勢の低下が果粒肥大や花振るいに影響しました。

平成27年産デラウェアの出荷は4月22日の初出荷から始まり、7月24日までに64回の出荷が行われました。単価は前年比102.6%の1,158円と高くなりましたが、デラウェアの栽培面積が昨年に比べ8.6%（約10ha）減少したことや小粒傾向であったことから出荷量は前年比86.4%の1,142ト、販売金額は前年比91.2%の1,273,522千円となりました。

来年産に向けて今年の反省点や今後の管理について座談会を6会場で開催し、生産者約180名の参加がありました。今年は市場から食味良好と評価が良かったものの、4月上旬の日照不足が普通加温栽培の花振るいに大きく影響しました。また、4月下旬以降に降水量が少なく、かん水量が不足したことや低夜温管理が影響して果粒肥大が悪くなり、結果としてパック比率が高くなりました。

現在、JAしまね出雲管内のデラウェア面積は106ha（前年91.4%）と急速に減少しています。また、老木が増え、樹勢の低下している園が多く改植の時期を迎えています。このような中で、粒張りが良く、省力化が期待できる優良系統デラウェアが注目されており、出雲ぶどう部会役員会においてこれを推進していくことになりました。このたびの座談会から優良系統デラウェアの特性等について情報提供を行っています。

当農業普及部としても優良系統デラウェアの推進を支援するとともに、来年作の安定生産に向けた技術向上も併せて支援していきます。



座談会の様子



平成27年産デラウェア 最優秀賞

担当者	出雲東地域振興課	竹岡聖矢	Tel 30-5602
-----	----------	------	-------------